

千葉市の「市民版・生物多様性戦略」づくりのご協力のお願い

2023年3月31日 みんなで生物多様性ちば市戦略をつくる会

私たちは、「国連生物多様性の10年日本委員会」委員で元千葉県知事の堂本暁子代表のもと、多くの方々の意見に基づく「市民版・生物多様性ちば市戦略」づくりをしています。千葉市の自然や生物多様性、また地域の生物多様性を守り伝える取組にご関心をお持ちの方々から、この素案に対するご意見、またこの取組へのご支援をいただきたく連絡させて頂きました。

昨年2022年12月にカナダで「生物多様性条約締約国会議(COP15)」が開催され、2030年までに「生物多様性の損失をなくし、回復傾向にする」をはじめ23の目標が定められました。それをふまえ「生物多様性国家戦略」が改定されるなど、食料から水資源や気候変動、さらに感染症と、私たちの暮らしに大きなかわりをもつ生物多様性とその保全再生への関心が高まり、各地でその取組が始められています。

2008年3月、千葉県は、温暖化と生物多様性保全の一体的取組を目指し、白紙の段階から県民と専門家、行政とが協働し作成した日本で初の地域戦略「生物多様性ちば県戦略:生命(いのち)のにぎわいとつながりを子どもたちの未来へ」を策定しました。しかし千葉市には「生物多様性地域戦略」はまだありません。そのようななか、千葉市は、2023年4月から、100年先を見据えた新たな「千葉市基本計画」(期間:2023~2032年度)をスタートさせます。これは、千葉市の特性である「自然」、「利便性・ゆとり」、「拠点性・交流」を将来にわたって活かし「みんなが輝く都市と自然が織りなす・千葉市」とする素晴らしい理念を掲げました。

世界の生物多様性にとって大きな節目の今年、新たな「千葉市基本計画」は、是非とも市域の自然や生物多様性の保全再生と連動する「都市と自然が織りなす千葉市」にしていきたいとおもいます。

この「市民版・生物多様性ちば市戦略」は、まちづくりへの市民参加の役割をふまえ、千葉市の将来に期待する多くの方々から、その自然と生物多様性の現状と課題、そして将来への夢や対策についてのご意見をいただき、その全てを取り込むことを念頭に作成しています。

ご意見、ご支援、なにとぞよろしくお願い致します。

素案に対するご意見、またご感想等を頂ける方は、編集担当の中村 qqvq6tq9k@star.ocn.ne.jp まで4月12日までに**お寄せ下さい。**

なお、皆さんからのご意見を、この市民版の戦略に取り込み堂本代表は、4月下旬にこの市民版を神谷市長さんに手渡し面談の予定です。

以上